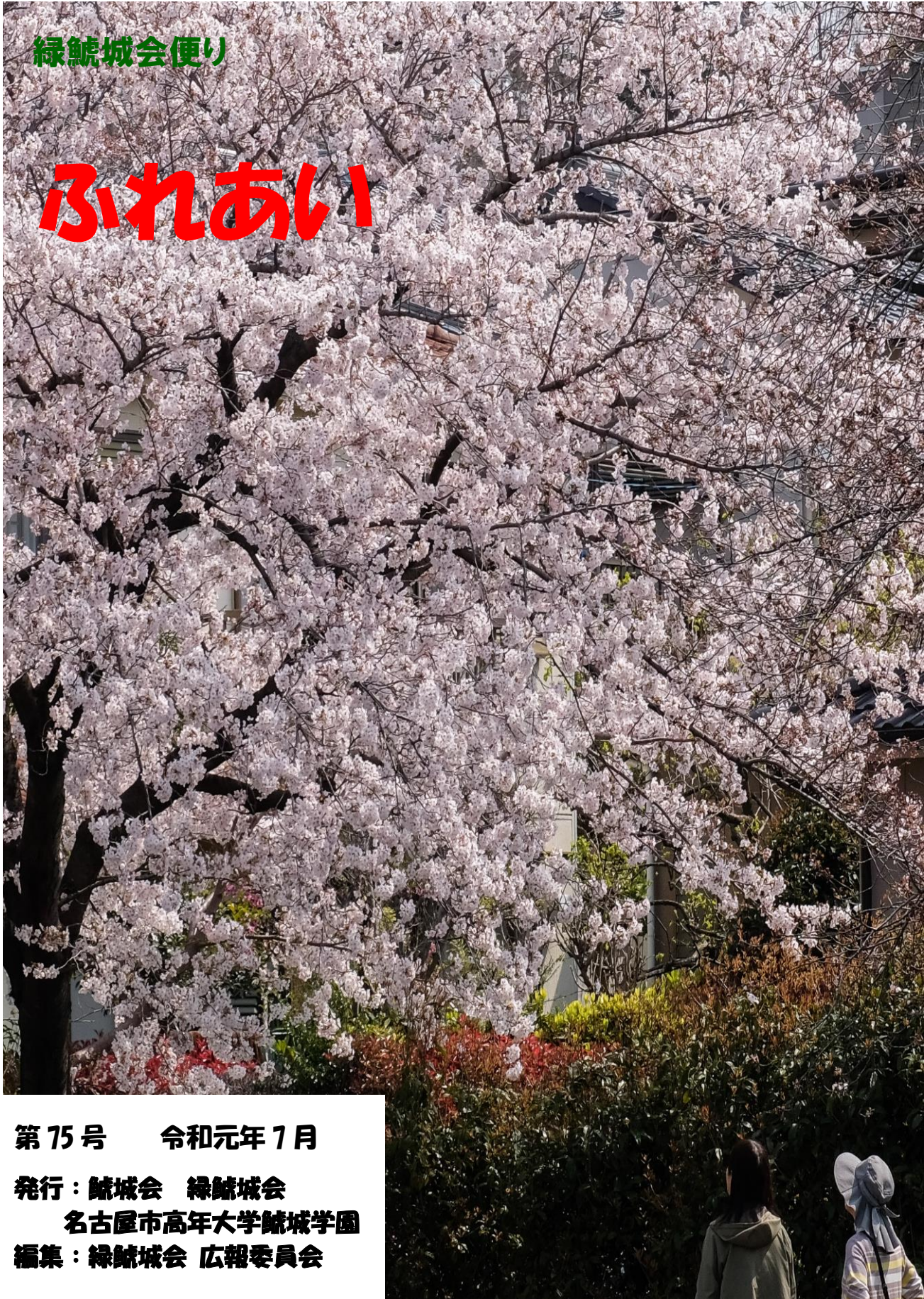




緑鯨城会便り

ふれあい

第 15 号 令和元年 1 月

発行：鯨城会 緑鯨城会
名古屋市高年大学鯨城学園
編集：緑鯨城会 広報委員会

目 次

★目次・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			3
★新役員挨拶	魅力ある楽しい緑鯨城会をめざして	近藤比呂史	4
	仲間と楽しく過ごすこと	平田 秀	5
	副会長としての抱負	高野 孝	5
	総務長に就任にして	渋谷 稔	6
	会計長として	松山 泰雄	6
	共に支え合い学び合う	野田千代子	7
	行事委員長就任に当たり	藤本 正信	7
	広報委員会の役割	坂神 誠	8
	少しでもOK、緑鯨城への関わりを！	福田聖太郎	8
★前役員挨拶	30 年度会長をつとめて	原田 良昭	9
	3 年間お世話になりました	馬場 良祐	10
	総務を 1 年間担当しての感想	水谷 敏夫	10
	会計業務を終えて	伊藤 吉雄	11
	ボランティア委員の 3 年間を振り返って	遠藤ハツエ	11
	行事を通じて交流を深める	加藤 比敏	12
	緑鯨城会での 3 年間	熊田 八郎	13
	緑鯨城会で役員	水谷たか子	14
★運営委員会だより	総務長 渋谷 稔		15
★総会開催される			17
	総会アトラクションに参加して 30 期	松井 完次	18
	歌声サロンみどりに参加して 24 期	加藤 政春	19
★ボランティア活動	マラソンボランティアに参加して 29 期	遠藤ハツエ	20
	マラソンボランティア 30 期	野田千代子	21
	わんぱく大相撲に初参加		22
★新入会員 32 期生の紹介（一覧）			24
	32 期生から一言		25
	31 期生から一声（昨年紹介漏れをした方です）		30
★ウォーキング同好会活動報告とこれからの予定	26 期	滝澤 克彦	31
★自由投稿	31 期	上野 英生	32
★俳句・短歌・川柳コーナー			33
★鯨城会ホームページへの投稿・掲載について			34
★会員の声の広場 & 「ふれあい 76 号」への原稿募集			35
★表紙説明 & 編集後記			36

新役員あいさつ

「令和」最初の緑鯨城会の新役員からのご挨拶です。

魅力ある楽しい緑鯨城会をめざして

会長 近藤比呂史 (30期 地域A)



3年前の会員数380名の緑鯨城会は今年新しく32期生17名を迎え、現在、総会員数311名までに減少しております。しかし、区会一の大所帯には変わりはありません。会長の大役を仰せつかり身の締まる思いです。

我が緑鯨城会は今年度創立30周年を迎えます。平成から令和への新時代に向け、当区会の現実をしっかり受け止め、魅力ある楽しい鯨城会をめざそうと思います。それには継続すべき良きことは継続し、今後にそぐわないことは変えることで、新しい渦、風を起こしたいと思っております。

我が緑鯨城会が持つ人財の知識、経験、知恵を活用できる「活躍の場」を積極的に展開したいと思います。

私も役をやってもよい。そのような趣味の作品展なら是非出品したい、参観したい。そのようなボランティア・諸行事に是非参加したい。総会・アトラクションには必ず出席・出場したい。そのような緑鯨城会の姿に向け、魅力ある楽しい鯨城会をめざして、諸先輩の助言にはしっかりと耳を傾け、役員、運営委員の仲間の方々と共に力を合わせ、会員の皆様のご協力を得ながら、目標に向け一步一步前進して行く所存であります。よろしくお願い致します。

<総会・新役員あいさつの様子>



福田
期別
委員長

坂神
広報
委員長

藤本
行事
委員長

野田
ボランティア
委員長

平田
副
会長

仲間と楽しく過ごすこと

副会長 平田 秀 (30 期 文化A)

令和元年度の緑鯨城会、副会長と鯨城会幹事兼務を仰せつかりました平田 秀です。役員としての抱負と尋ねられましても、元々肩に力を入れてどうこうしようというつもりは毛頭なく、ただ会員の皆さんと一緒に楽しく過ごせたらなと思っています。

自分が楽しくないところに、楽しみは湧き出ません。今、緑区の状況が、高校時代に覚えた陶淵明作の漢詩「帰去来の辞」をまさに彷彿とさせます。鯨城学園を卒業して身の置き場を緑区鯨城会というふるさとに求める。そのふるさとは、多くの同好の士がいる。

「帰りなんいざ」「田園将に荒れんとする」このふるさとに戻り、元からの仲間と、そして新たな友達と思う存分に楽しめる。そんな小天地があってもよい。地元だからこそ、手を伸ばせば出来ることがある。例えば、早朝のウォーキングの後のモーニングコーヒー、地元の歴史跡をつぶさに散策する、昔習いたかった英会話を始める、腰が痛いとか足が釣るとかの同士と健康体操始めるとか、などなど小地域だからこそ、近場に興味を求めて、お隣に仲間を求めることができる。

そんな緑鯨城会でありたいですね。もっとも、指導者とかインストラクターを探すことが大変ですけどね。会員加入増の誘因を作り出す努力ができることこそが役員としての楽しみかもしれません。

副会長としての抱負

副会長 高野 孝 (31 期 国際 B)

緑鯨城会に入会して、はや1年。やっと、会の組織、体制、人脈が、おぼろげながら、見えてきた様な気がします。本年4月から副会長の任を受けるとともに、今秋の「趣味の作品展」、来春の「30周年記念事業」の実行委員長をWで仰せ付けられ、まさに「任重くして道遠し」といった心境です。

世の中は、「平成」から「令和」へ静かにゆったりと移ろう中、お陰様で、近年になく多忙な春を迎えています。ある人曰く、人生も60中を過ぎて、「自分の居場所が見つかり、その場所でできる事に巡り会える事が一番大事 !!」緑鯨城会に入会してそれが、見つかった様な気がします。31年度(令和元年)の緑鯨城会のテーマは「魅力ある楽しい緑鯨城会」です。会長の足を引っ張らないように、魅力ある「趣味の作品展」魅力ある「30周年記念事業」を目標に、緑鯨城会の皆様に楽しんでいただける行事の実現に努力したいと思います。ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。



総務長に就任して

総務長 渋谷 稔 (30期 地域B)



令和元年度の新しい時代の始まるときに、総務長という大役仰せつかり責任の重さを感じております。

緑鯨城会入会時は期別の担当を希望していましたがメンバーの不足等でなんとなく総務を担当することになりました。私自身の性格は大雑把で、細やかな配慮の必要な総務には性格には不向きと思っています。

緑鯨城会の会員数が年々減少の傾向ですが、組織としての縦糸が鯨城会「鯨城かわら版」、緑鯨城会「ふれあい」であり、横糸は「作品展」「同好会」「期別活動」ではないかと思考しております。横糸を活発にして会員間の【絆】を強くしたいと思います。

4月に初めての運営委員会で議事進行役をさせて頂きましたが、不慣れで上手くいきませんでした、今後も失敗があるのではと心配をしていますが、『総務長のお役』多少の苦労はしても楽しく頑張る所存です。(ボケてはおれないです)

皆様のご指導、ご支援をお願い致します。

会計長として

会計長 松山泰雄 (30期 美術)



今年度は残念なことに会員数が一割ほどの減少で、予算執行においてそれ相応の圧縮が必要となっております。前年度でも担当の皆さんがそれぞれ頑張っておられたことと思いますが、それ以上に今期担当の皆さんが削減を認識されていることに期待しております。

会員の増減の件は今後とも、入学者数に比例していくと思います。今後鯨城会で入会アピールを行っても極端に増えることはないと思いますが、その努力はするべきでしょう。鯨城学園と鯨城会が在学中に地域参加に関する講座を積極的に行ったり、会員が退会する場合は、やむを得ない退会以外は辞めた事情をはっきり確認し、その対策を講じないといけないと思います。

鯨城学園の入学者の走っている人生航路の先が、自身の住む地域という港に向かっているか！地域の暮らしをより良いものにしたいと思うのは誰でもですが一歩足を踏み出して行うものが町内会や緑鯨城会ではないでしょうか。

黄昏の年齢に達した我々としては、住む地域において、多くの人達と交流する機会を増やしそれぞれの活動やスポーツで体を動かして、健康を維持することを願っていることです。

たくさんの在校生の皆さんがこのような思いを持って、緑鯨城会に入会してくれることに期待したいです。

共に支え合い学び合う

ボランティア委員長 野田 千代子 (30 期 国際B)

ボランティア委員長を引き受けたとはいえ大変なことになったというのが実感でした。

さてボランティアとは何をすべきなのか、当面の課題を考えてみました。

「誰もが安全に暮らせる福祉の町づくりに努める」とは、見えてきたものは、公園の清掃、施設へボランティア訪問、施設への雑巾の寄付等。

私個人の占めたる務めとは微々たるもの。しかし多くの人の力を寄せれば大きな結果が生まれるのは当然だと思います。

「共に助け合い学び合う」をモットーに挙げてみました。人間は人との支えがなければ生きていけません。そこで助け合うことで、人の心を学び自分自身の心の糧を見つめることができるはずです。人は夫々素晴らしいものを持っています。

私は地域の方々と仲良く助け合い、相互の情報を交換して人生の生きがいを見つけたいと思います。

健康を維持する為に社会参加をし、人とのつながりを持ち、多少なりとも貢献出来たらと思います。ボランティアに入り友達の輪が広がりました。「博愛の精神」心のどこかに響く素敵な言葉です。一人の力では出来ないことを沢山の人で協力し合い、人の為、世の為、少しオーバーですが、結果として気持ちの良い余韻が残る活動をしていけたらと思います。

行事委員長就任に当たり

行事委員長 藤本 正信 (30 期 生活A)

この度行事委員長に就任しました藤本です。歩いて知ろう会です。

鯉城学園を卒業して、何も知識はありませんでしたが1年目は行事委員の見習いから始めて、2年目は行事委員の副委員長の役について先輩の手助けをするようになり今年3年目に委員長の役につきました。

行事委員とは鯉城会の会員をまとめて、社会見学、施設鑑賞等の行事計画を立てて会員相互の親睦を図り事故の無いよう計画を実行する役だと理解しております。

今年も年間の行事計画として、バスツアー2回、施設見学2回、劇場鑑賞1回を計画して実行していく覚悟です。会員の皆さん、この計画に対して喜んでたくさん参加して頂くようお願い致します。

とにかく「明るく 元気に 朗らかに」行事委員長として今年1年間頑張ります。もし私たち行事委員にご指摘、ご指導いただくことがあれば気兼ねなく申し出ていただくようお願い致します。

広報委員会の役割

広報委員長 坂神 誠 (30 期 文化A)

広報委員会の役割は、様々な情報を会員の皆さんに迅速に正確にお知らせすることです。

一つは、広報誌「ふれあい」の年3回の発行です。役員会や同好会などの活動ばかりでなく、会員の皆さんの声を広く伝えることが目的です。しかし、現実には会員の皆さんの積極的な投稿は少なく、個別に原稿依頼をしているのが現状です。

行事やボランティアなどに参加した感想や、趣味のこと、生活観、緑鯉城会への要望・苦情など自由に投稿をしてください。大歓迎です。

二つ目は、鯉城会ホームページの活用です。ホームページから緑区を開くと緑鯉城会の行事予定や活動報告をご覧いただけます。また、ホームページへ掲載したいことがありましたら、広報委員会へご連絡ください。

緑鯉城会の主役は役員ではなく、会員の皆さんです。それをモットーに広報委員会の役割を果たしていきたいと思っております。

課題もあります。「ふれあい」の年3回発行の必要性和「ふれあい」のカラー化（業者委託）です。今後役員の皆さんの意見をお聞きしながら検討してまいりたいと思っております。 ご協力をよろしくお願いいたします。

少しでもOK、緑鯉城会への関わりを！

期別委員長 福田 聖太郎(30 期 地域A)

期別委員長を担当する事になりました。

今年度も、期別内での会員相互の親睦を図るために、19期の期別委員から新規加入の32期の期別委員までの方々と共に活動して参ります。

その為、皆様と活動計画を作成し、実施し、総会等で報告していきます。

ところで、緑区鯉城会の会員数は、16区で最大の規模ですが、その規模の大きさも遠因かもしれませんが、緑鯉城会への関わりの機会が少なくなっているのではないのでしょうか？

そこで提案です。

会員の皆様には、緑鯉城会の行事・ボランティア・同好会への参加はもとより、秋の作品展への出展参加等多々ありますが、加えて鯉城会全体の行事も企画されていますので、何でもOKです。1件でも関わって頂きたいと思います。

この為に、我々期別委員から情報発信する事も大事になります。期別の連絡網を活用し皆様にお伝えする事も大事になります。

今年度は、何か一つ緑鯉城会への関わりを！お願いします。

前役員あいさつ

この度役員を退任されました皆さんからご挨拶をいただきました。
長い間、有難う御座いました。

30 年度会長をつとめて

前会長 29 期 原田 良昭 (30 期 地域A)



入会時、役員を受けようと考えたのは鯉城会幹事として活動したいと考えていたからですが、先輩がたのパソコン利用方を見て、もう少し楽にやれるようになるのではと考え、お手伝いしている内に総務ということになってしまいました。

二年目に会長の下で地域ミーティング、作品展等お手伝いしたり主体となってやつたりで区鯉城会活動を体験して参りました。

その中で感じたことは書面化、見える化が不足しているため多くの役員、運営委員の方々が苦勞しているということでした。その中でワード、エクセル等を大いに活用しデータとして残し、それを再活用してもらえよう進めてきました。

昨年度会長職の時、そのことが大いに役立ちあまり細かく立ち入らないで進めていただくことができたと考えます。

会長として特に進めたことは、役員会、運営委員会の議事進行を速やかにし、できるだけコミュニケーションの時間を増やすこと、時間を厳守しおいしいランチに早く行くこと「とにかく楽しく笑顔で議事進行」これに努めてきました。

また、重要な各種補助金申請、受領のプロセスも見える化し今後会長がそのことでプレッシャーを感じることはないように心がけてきました。

近年、年を経る毎に入会者、入会率が減少しています。
どうしたらよいか、それは大変難しい問題ですが我々が今できることはとにかく緑鯉城会は経年した大人の遊び場であるということを明確にし、楽しい遊び場と時間の拡大に努めお互いにコミュニケーションを充分取り良い集団になっていくことではないかと考えます。

又役員各委員も冒頭に申し上げたように作業に見える様にして楽しく進めることが重要と考えます。あとに続く人たちには欲張らず重要なことを一つ一つ積み上げていただくようお願いします。

最後になりましたが、在任中に知り合い、お世話になりました多くの皆様には、心より感謝申し上げます。

「3年間お世話になりました」

前副会長 馬場 良祐 (29期 生活A)

3年前の私は鯉城学園を卒業と同時に、各区の鯉城会に入会するのが当たり前のような感覚でした。(名古屋市の助成金で勉強させてもらい、感謝の気持ちをもって御礼奉公をする)

入会の初年度に期別委員をして緑鯉城会のことを少々勉強させてもらい、2年目に総務へ移動して、鯉城会の幹事を務めることになり、主に社会奉仕活動の担当でしたが、リーダーが仕事のできる方で、我々の出番は各区へ持ち帰り各種のボランティア活動への参加を促すことだけだった気がします。

しかし、16区フェスティバルが12月に開催され鯉城会が総力を挙げて取り組み、フェス委員とともに大変充実した時間を持てたことが思い出されます。(今年度は11月20日に開催予定)

3年目は、副会長兼幹事を拝命しましたが、鯉城会会長も交代して大幅な改革があり、幹事も半減して、各事業の一人一人にかかる負担が大きくなり、軸足をどちらに置くか迷いましたが「何とかなるさ」と開き直り、皆様の多大な協力を頂き大過なく努めることが出来ました。

会長・総務長、各委員長や先輩諸氏、同僚に支えられて無事完走することができたことをこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

3年間ありがとうございました。緑鯉城会の益々の発展を願望するとともに皆様のご健勝を心より祈念いたします。

総務を1年間担当しての感想

前総務長 水谷 敏夫 (29期 文化B)

まず、会員の皆様には、この1年間ご協力をいただき、誠に有難うございました、感謝申し上げます。

さて、30年度総務を担当させて頂きました中で思ったこと、感じたことは 新入会者の減少です。年齢的な事、卒業生の減少も有りやむをえない時世でもあります、この2年5%~9%の減少です。

新入会員が卒業生の半分以上は寂しいですね。これからの緑鯉城会運営は過去を含め全期の役員、委員長にも協力を願い、経験者の知識、知恵を活かしてどんどん参画して頂く体制を考えてみては如何でしょうか。他の区では早くから取り入れているようです。

総務長を経験させて頂き何よりの宝は、一緒に活動した役員、委員長、会員の皆様との会話(特に何度か有る懇親会)では、つい本音が出ます、各自の意見も出、方々の人となりを知る事が出来ます。

これは、この地域で生きていく上で、得がたい親友になると思いました。

1年間色々大変な事がらを処理しなければなりません役員活動する意味が大いに有り、楽しくも有りましたね。

会計業務を終えて

前会計長 伊藤 吉雄 (29 期 生活 A)

30 年度の会計長といたしまして、緑鯨城会の大切な「金庫」をお預かりいたしました。

緑鯨城会の運営費を確保するために、先ずは 30 年度の会員皆様の会員継続と会費納入のお願いに一生懸命に促進に努めましたが、入会者は 288 名でした。31 年度新入会員含め 308 名の皆様に会費を納入していただきました。誠にありがとうございました。

また 予算費用といたしまして、作品展、区民祭、総会費にボランティア奉仕活動に、会員総合間の行事活動に、ふれあい誌発行に、期別間交流活動にと其々が地域活動及び親睦活動などの運営に支障を来すことの無いように常に情報の交換を計りました。

各委員の皆様、会員の皆様のご支援とご協力をいただきまして、大過なく 30 年度の運営ができました。ありがとうございました。

緑鯨城会の大切な「金庫」を 31 年度の会計長にお渡しできました。

各委員の皆様、会員の皆様、重ねてありがとうございました。

ボランティア委員の 3 年間を振り返って

前ボランティア委員長 遠藤ハツエ (29 期 生活 A)

高年大学を 4 度目（抽選）にして入学し 2 年間学び舎で勉学・クラブ・体育祭・文化祭・修学旅行と色々経験し楽しい学園生活を終え、卒業後は自分の住んでいる地域に少しでも貢献できる様にと緑鯨城会に入会しました。

- 1 年目は見習い、2 年目は助手として、3 年目はボランティア委員長として、
- ・ 月 1 回の新海池公園・要池公園、特別養護老人ホームかきつばた、市民病院受付サポート
 - ・ 6 月に緑区クリーンキャンペーン扇川清掃
 - ・ 10 月に鯨城会クリーンキャンペーン鶴舞公園清掃
 - ・ 11 月に鯨城会堀川清掃大作戦

- ・12月にはミシンで雑巾作成した日々、仕分けと配布
- ・緑区社会福祉協議会受付ボランティア・・・2月2回/ 3月1回
- ・3月にウイメンズマラソン・2019
- ・その他、緑区社会福祉協議会受付ボランティア、ボラネットみどり（福祉団体）定例会、名古屋市こころの絆創膏キャンペーン などを行いました。

色々な行事を務めるのが初めは心配でしたが、1年、2年、3年目には皆勤賞を貰いたいほどすべて参加しました。

今、思えば老後を如何に有意義に過ごすことができるか模索しながら、鯉城学園を知りこの5年間終え大勢の方との出会いがあり、又色々体験することができたことに感謝しています。

ボランティア活動は一人では出来ません。大勢の皆様の協力やご支援があればこそ出来ることです。緑鯉城会の伝統ある精神を後輩の方へ引継ぎながら、益々の向上を願っております。

これからも厳しい高齢社会を乗り切りながら、元気な内は（体力・気力）ボランティア活動に参加して行くつもりです。
皆様有難うございました！

行事を通じて交流を深める

前 行事委員長 加藤 比敏

30年度のバスツアーは天候に恵まれ、7月の「駒ヶ岳ロープウエー・千畳敷・養命酒工場見学」と11月の「あいち航空ミュージアム見学、お千代保稲荷・明治乳業見学」ツアーとともに見学先もさることながらバス車内でのカラオケ・ビンゴゲームも楽しく、会員相互の交流を深める良い機会となりました。

又、9月のJICA訪問では青年海外協力隊のテニス普及で2年間スリランカに参加された体験談があり言語、宗教による習慣等の違いは興味深いものでした。スリランカといえば観光地としても人気がありますが、4月21日（日）に起きた連続爆破テロ事件は衝撃的でした。過激派組織による自爆事件で日本人1人を含む250人以上の犠牲者があり、まだ正確な死傷者数は把握できていない状況は、今回の研修で身近に感じていた国だけに痛ましい限りです。

5月のプラネタリウム鑑賞や2月の大須演芸場でのプロの演芸（落語・漫才・紙切り）鑑賞は残念ながら参加者は多くありませんでしたがテーマや演目が異なるので何度行っても楽しめるものです。

さらに恒例の10月下旬の「趣味の作品展」への出展・鑑賞や区民祭りブースでの子供達を対象にしたプラパン作り、3月のウイメンズマラソン等のボランティアに参加することで地域とのつながりも感じることができ、明るく楽しく参加することで交流を深めることができました。

ご協力ありがとうございました。



緑鯢城会での3年間

前広報委員長 熊田 八郎 (29期 文化A)

緑鯢城会の会員になって、もう3年経過しました。

各種の行事に参加したり、広報委員を担当して「ふれあい誌」を編集したり、健康体操同好会で汗を流したり、会員として結構充実した日々を過ごす事ができました。様々の楽しいことがあり、良い3年間だったと思っています。

色々とあったなかで、やはり広報委員として活動したことが、私にとって一番忘れがたい事です。少し興味があって、軽い気持ちで引き受けた広報の仕事でしたが、この2年間程は私の生活の多くを占めていました。

「ふれあい71号」からは29期生が取りまとめる事となり、どのような広報誌にするか概要案をまとめ、広報委員の皆さんの意見を求め、原稿募集の分担を決めて着手しました。でも、予定通りに行かないのが世の常で、構想通りにはできませんでした。

急遽穴埋めの原稿をお願いして、形を整えたりしたこともありました。

出来上がった「ふれあい」には、問題・不具合が種々ありました。広報委員会の運営の仕方等も反省点は色々とあります。でも、多くの人々が協力・支援をしてくださり、そして寛容な心で見守って下さったお陰でどうにかこの4月に、広報委員の役目を大過なく卒業できました。本当にありがとうございました。深く感謝申し上げます。

今は、何となく肩の荷をおろしたような感じでホッとしています。これからは、出来るだけ緑鯢城の行事に参加すると共に、健康体操同好会で健康維持に努め、楽しい日々を過ごすようにしたいと思います。

「緑鯨城会で役員」

前期別委員長 水谷たか子（29 期 地域 A）

平成 28 年 4 月に緑鯨城会に入り早速 29 期期別委員になり、3 年目は期別委員長になりました。一年間のボランティアの参加・不参加を調べる為「料金受取人払」郵便のハガキを作成又郵便局の承認等、色々大変でした。

19 期～31 期の期別委員さんに 30 年度期別活動予定の作成をお願いしました。皆さんが計画したプランの中に 25 期「日帰り旅行栗拾い、中津川岩寿荘」がありました。平成 30 年 9 月 20 日 25 期 8 名、応援参加 9 名、合計 17 名、宿の送迎バスは 15 名以上参加して欲しいとのことで、応援参加の中に私も入れてもらいました。帰りに「栗」を一杯貰いました。お世話になりありがとうございました。帰りの送迎バスの中に帽子を忘れ着払いで送ってもらったのも一つの思い出です。平成 31 年 4 月 16 日 木曽路鴻仏目店で「29 期役員、運営委員の慰労会」がありました。29 期の皆さん 3 年間ご苦労様でした。緑鯨城会に入って一杯友人が出来て良かったです。



4 月 12 日に行われた 29 期役員慰労会に参加された皆さん

役員は大変ではあるが、やりがいもあった！

これが役員を終えた皆さんの感想のようです。

皆さん、ありがとうございました。

運営委員会だより（2月～5月）

総務長 渋谷 稔（30期 地域B）

第11回運営委員会（2月16日）

1. 協議事項

- ・鯉城会会則改定に伴う、緑鯉城会会則の改定

第25条2 ①入会のまま再入学した者は期別、年会費ともそのまま継続する。
期別は以前の期を継続する。

第27条4 役員・委員の任期の項補足

- ④卒業後4年目以降の期の期別委員は、再任制限規定第10条は適用しない。

28条会則の補足 緊急の場合は、運営委員会出席者の過半数の同意で改正出来る。

2. 活動報告と連絡事項

- ①名古屋ウイメンズマラソンボラの担当区間・役割と注意事項
- ②青年会議所主催「わんぱく相撲」のボランティア要請（5月12日）
- ③「31年度総会」準備状況の報告と確認

第12回運営委員会（3月23日）

1. 協議事項

- ①「31年度総会」準備資料の作成状況と確認
- ②「31年度総会」当日の配置・運営手順の確認徹底

2. 活動報告と連絡事項

- ①32期生の緑鯉城会入会者数 17名
- ②緑鯉城会創立30周年行事（総会と同時開催・要池公園植樹）協議する。
- ③緑市民病院よりプランター・ガーデニングのボランティア要請
- ④鯉城会「16区フェスティバル」「16区グランドゴルフ」予定される。

令和元年度第1回運営委員会（4月20日）

1. 協議事項

- ①「16区フェスティバル」鯉城会行事として11月20日（水）に開催されます。
フェス委員に馬場良祐（29期）サポーターに水谷敏夫（29期）、金原孝夫（31期）が選出されました。
- ②1名欠員の鯉城会幹事に山下富和（31期）を選出、平田副会長と合わせ2名となる。
- ③緑市民病院ガーデニングボランティアは丁重にお断りする事になる。

2. 活動報告と連絡事項

- ①「16区フェスティバル」鯉城会行事として11月20日（水）に開催されます。
- ③近藤会長より運営方針説明「魅力ある楽しい緑鯉城会」

第2回運営委員会（5月18日）

1. 協議事項

- ①第24回作品展 実行委員長・各実行委員を選任提案、承認を得る

2. 報告・連絡事項

- ①「ふれあい」配達人辞退者の交替要員確保の協力お願い。
- ② 34期生対象 第1回地域ミーティングの準備確認、役割分担確認（5月22日予定）
- ③ 緑鯨城会の創立時期の確認。（下表参照）
- ④ わんぱく相撲ボラ 子供相手の楽しいボランティアでした。
- ⑤ 30周年記念事業の植樹（桜2～3本）時期を植木屋と相談、最適時期を選ぶ。

緑鯨城会の創立年月について

過去に行なわれました10周年、15周年、20周年の各記念事業は平成元年5月を創立として認識し、実施されて参りました。

再度、5月18日開催の役員会・運営委員会において協議した結果、今年度（H31年度・令和元年度）に「30周年」を迎えるとの承認を得、認識を共有致しました。

「30周年記念実行委員会」を発足し、事業提案を受け、運営委員会了承の下、今年度に各記念事業を進めて参りますので、皆様の御協力をお願い致します。

会長 近藤 比呂史

< 6月1日扇川クリーンキャンペーンに緑鯨城会から75名が参加 >



皆さん、お疲れ様でした！

総会 開催される

4月10日（水）緑鯨城会の総会が名古屋市緑文化小劇場において開催されました。

御来賓に、緑区役所徳重支所長 豊田均様、高年大学鯨城学園 鈴木雅彦様、緑区社会福祉協議会事務局長 鈴木伸様をお招きし、当日は会員 339 名（総会当日現在、その後減少）中 103 名が参加、委任状提出 113 名で、特に質疑もなく全議案無事承認されました。

大きな議案としては会則の改定です。

平成 27 年度に鯨城学園の再入学制度が始まり、会員の皆さんの何人かが再入学されました。それに伴いそれらの方々の入会金や会費、所属期別などを新たに整備したこと等です。（運営委員会だより参照）

また、新たに 30 周年記念事業経費が計上されました。

今後の課題は、いかに多くの方に出席をしていただくかでしょう。



《総会アトラクション》

総会では 4 グループに演技等を披露していただきました。

＜銭太鼓の演舞＞





平成 31 年度 総会アトラクションに参加して

松井 完次 (30 期 福祉)

総会後のアトラクションに、私が指導している 30 期オカリナクラブOB会と 30 期オカリナ同好会が合同でオカリナの演奏をさせていただきました。

曲目は「瀬戸の花嫁」「威風堂々」「贈る言葉」の 3 曲でした。

当日は生憎の雨模様の寒い一日でしたが、リハーサルや練習室での練習も十分にでき、準備万端で落ち着いて本番に臨むことができました。

素晴らしいホールで演奏する機会を与えていただき、役員の皆さまにこの書面をお借りし感謝申し上げます。



オカリナクラブOB会は、いつかはCDデビュー？という大きな夢を目指し、福祉クラスを中心に発足したオカリナ同好会は、より深い親睦と技量を高めることを目標に、共にオカリナを楽しんでいるグループです。

活動内容としては、月 2 回の練習を設けボランティア演奏や各種のイベントの参加などです。

手軽さと土でできた音色の暖かさにひかれ癒されるオカリナ。(私がオカリナを始めたきっかけでもある)

興味のある方は是非挑戦してみてはいかがでしょうか。

<太極拳演舞>



うた声サロンみどりに参加して

加藤 政春（24期 園芸）

昨年 7 月に発足したうた声サロンみどりに参加しました。私はこれまで歌うことはそう滅多にありませんでした。

「皆と一緒に歌うことは楽しそうで面白いかなー」と思ったからです。歌詞集は 2 冊で 377 曲もあります。自分の好きな曲をリクエストして歌うこともできます、後期高齢者の私でも皆と一緒に交流して歌うことは気持ちが明るくなり元気をもらう気分にもなり健康にも良いと思います。瀬戸信金の 3F ホールでは大きな声をだして歌うようにしています。

発足して間もないですが 4 月の総会ではアトラクションにうた声の発表をしました。発表会に向け皆が熱心にそれぞれが一生懸命に練習をしました。発表会が終了して私は 9 年前の鯉城学園の文化祭でクラス発表をしたその時の体験を思い出しました。「あの頃は自分もまだ若くて元気だったんだなー」と何とも言えない気持ちになったのです。

当初はフオークソングクラブ OB 二人がギターを奏でる伴奏で歌ってきましたが、新たにキーボードの伴奏も加わるようになり歌いやすくなりました。

メンバーには白川ハーモニック、他のコーラスで活躍している人、これまで歌い慣れない人もいますがうた声サロンは明るくて楽しい雰囲気です。これからもうた声の仲間の一員として楽しんでいきたいと思っています。



銭太鼓



ボランティア活動

今号では、「ウィメンズマラソン」と今年初めて参加した「わんぱく大相撲」の紹介をいたします。

マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知 2019 に参加して

遠藤 ハツエ (29 期 生活 A)

3 月 10 日（日）天気予報は午後から雨です。
緑鯨城会のボランティア区域は、瑞穂区北、
復路 A・B ブロック 31 区～34 区です。私は B
班 34 区エリア担当でした。

緑のウェアと帽子をかぶりコンビニの駐
車場内にある仮設トイレの誘導です。昨年も
場所は違いましたが、仮設トイレの誘導で
したので、何となく要領は分かっていたので
安心していました。

トイレは 20 個、洗い場は 2 ヶ所、ただ手洗い場の仕組みが昨年は上にタンクがあり
蛇口をひねれば水は出ましたが、今年はタンクが足元にあり、ペダル式でした。11 時
頃よりランナーがトイレに来だし、11 時 30 分には長蛇の列になりました。

列の整理をし、順番を指示する人、歩道の交通指導（歩行者・自転車誘導）それと皆
ランナーは急いでいるため、手洗い場のペダルが分からず水が出ないと言い、ペダルを
踏む係と 9 名の女性でしました。はじめは交代で休憩しましょうね。といつておりま
したが皆休憩もできなく水も足らなくなり、重いタンクの水を入れながら大変でした。
雨も降り出し気温も下がり寒くなりだしました。段々終わりに近づき人波も少なくな
りだし、幸い怪我人も出ず無事に終わることができ良かったです。



雨も本降りとなり体も冷えていまし
たが、29 期の皆さんと美味しいランチ
を食べ今年も参加できたことに喜びを
感じながら帰路につきました。

マラソンボランティア

野田 千代子（30 期 国際B）

私は数回マラソンボランティアに参加した。
昨年と今年は運よく【トイレ休憩所】誘導沿道には多くの応援客、空にはヘリコプター。

白バイに誘導されたトップランナーグループが迫って来ると私の胸の鼓動が止まらない。カッコイイただ一言。一秒の隙も無く競い合って通り過ぎて行く。マラソンならではの醍醐味である。多くの方がこの日の為に日々の練習と努力を積み重ねていると思うと頭が下がる。

段々と情景も緩やかになり、トイレ使用ランナーも出てくる。再度走り出す時に、私は「頑張って」と一言。返事が「笑顔のみで無言」で戻ってくる。その瞬間がたまらなく嬉しい。長距離走は話すこともできない位疲労困憊だろうと労りたい気持ちになる。

制限時間が過ぎるとバスがランナーを探すため、「トイレに誰か残っていませんか？」これまた労わる一齣で微笑ましい。マラソンボランティアは独特の楽しさがある。

又次回を楽しみたい。



31 期生の皆さん、来年もお願いしますよ！

わんぱく相撲



世代間交流イベントに初参加！

名古屋青年会議所主催：「わんぱく相撲・名古屋緑」会場内で、世代間交流“昔の遊び”を紹介するコーナーを担当し、来場された大勢の皆様と、忙しくも楽しい一時を過ごしました。

緑鯉城会としては、名古屋青年会議所：グランドジェネレーション活躍社会構築委員会の「すべての世代間で助け合う社会を実現する」、という社会貢献事業の趣旨に賛同して初参加、今回は10名で活動を担いました。

“ふれあい”を大切に、これからも地域との絆を深めて行きたいものです。



- 令和元年5月12日（日） 13:00～16:00
- わんぱく相撲緑会場 名古屋市立徳重小学校体育館
- 競技エントリー 170名（男子・女子 小学1年～6年）
- イベント来場者 約530名



立ち会い鋭く
がっぷり四つ



手をついて！
女子も気合い十分



豆力士が勢揃い！！ 白熱した取組が続き、熱気あふれる応援で、会場内はおおいに盛り上がりました。



参加感想コメント

昔遊びコーナー	・ずーっとおはじきを楽しむ控え目な女の子。表現・発想力豊かな一年生の男の子。折り紙では、几帳面に最後まで完成させる二年生の男の子など、遊びを通して子供たちの一面が垣間見え、楽しく参加出来ました。
折り紙	・子供達とふれあう時間がとても楽しかった。機会があれば次も参加したい。
おはじき	・折り紙やお手玉等々、夢中になっている子供達の姿を見て、嬉しかった。いい交流機会だと思いました。
かるた	・少人数のため休憩が取れず大変だったが、参加して良かった。交代要員がいればローテーションで休憩をとり、観戦を楽しみ、応援する余裕ができたかも…。
めんこ	・かわいいマワシが面白い。競技待ちの子との昔遊びの折紙、おはじきの人気。楽しい子供達とのふれあいに堪能しました。
お手玉	・すもう大会で、小さいお子様と折り紙やおはじきをしました。すもうは全然見られなかったけれど、暑さも忘れて折り紙に熱中しました。
めんこ	・折り紙、おはじきコーナーは大人気で満席。メンコ・かるた・お手玉は意外に不人気。迫力満点の取組みが続き、熱気あふれ、満員御礼の内に無事終了となりました。
お手玉	・今朝起きると、やたら右腕と右脇腹が痛む。めんこ(しょうや)のせいであろうか？子供時代を思いだし熱中しすぎたのかも…。我々には懐かしい昔遊び。忙しくもあったが、楽しいひと時を過ごせた。



新入会員 32 期生の紹介

3 月に鯉城学園を卒業され、新しく緑鯉城会に入会されました、32 期 17 名の皆さんを紹介致します。

魅力ある緑鯉城会を創る仲間として、“気付き”そして“積極的発信”をしていただき、新しい風による変化を“楽しみ”へと繋げていきたいものです。

NO	氏 名	専攻学科	在学時のクラブ	居住学区
1	大村 忠士	国際 B	歴 史 愛 好	旭出
2	片岡 久恵	文化 B	郷 土 史	太子
3	北山 みね子	国際 A	水 彩 画	太子
4	腰山 健治	国際 A	ハイキング	東丘
5	杉江 喜代子	文化 A	社交ダンス	大高南
6	杉崎 四郎	国際 B	フォークソング	旭出
7	高田 洋子	生活 B	健康ウォーク	熊の前
8	千島 利秋	国際 A	社 会 研 究	旭出
9	坪内 克己	国際 B	パ ソ コ ン	桃山
10	中村 洋一	国際 A	社 会 研 究	長根台
11	野村 啓子	健康 A	郷 土 史	徳重
12	畑野 浩志	文化 B	将 棋	滝の水
13	早川 公二	国際 A	健康ウォーク	常安
14	廣瀬 義忠	文化 A	短 歌	片平
15	古澤 利之	地域 A	重要文化財研究	鳴海
16	山蔭 力男	園 芸	陶 芸	相原
17	吉田 稔	国際 A	天文・気象	大高北



緑鯨城会 32 期生から一言



32期 国際B

大村 忠士 (おおむら ただし)

クラブ：歴史愛好 趣味：歴史(初心者)

「知ることの喜び」

この歳にして、自分のやりたい歴史や自然科学系、苦手な水彩画や英会話をやりたいと思っています。遅すぎると思いますが、時代の背景や文化の向上など教材も変化していますし、我々も時代を重ね物事に対する見方、考え方が若い頃とは変化しています。言い訳をしながら、本を読んでもすぐ忘れますが、知る事の喜びを求め、共に学び共に成長できたら素晴らしいと考えています。新たな景色を求め続けたいと思います。これがまた楽しい。



片岡 久恵 (かたおか ひさえ)

32期 文化B

クラブ：郷土史 趣味：水泳・太極拳

「これから」

最後の講義で先生が、少し自分と違った人と、付き合う努力をして下さいと話されました。この言葉が強く心に残り、気の合う人だけと接し、好きな事だけしてきました。それでいいと思っていましたが、学校ではこんなに価値観が違う人がいるんだ、今まで私は寝ていたかと思う日々でした。

いろいろ悩む事もありましたが、これからの人生、大学で学んだことを忘れず、地域で頑張りたいと思います。



北山 みね子 (きたやま みねこ)

32期 国際A

クラブ：水彩画 趣味：水彩・織物・ウォーキング

「仲間たちに感謝」

好きな花がみたくて、山行を楽しんでいた時期があった。

今は、人との出会いに感謝の日々。高年大学へのきっかけは、ASC仲間から冊子鯉城をいただき、一回で入学！。人間関係はどうか、体力は果たして二年間続くのか、国際と気負いもあったけど、ステキな仲間と楽しい時間を共有できた。

緑鯉城会でも夢、希望、自分との約束、ますます膨らんでいきそう。

人が好き、自然が好き、花が好きなわたし。銀なな会、国際Aの仲間に感謝！

ありがとう。



腰山 健治 (こしやま けんじ)

32期 国際A

クラブ：ハイキング 趣味：スポーツ・旅・ビール

「近況報告」

楽しかった鯉城学園生活も終わり、これから何をしようと思っていた時、緑鯉城会に入会させていただきました。事前にシルバーカレッジへの申込みをしていたのですが、補欠8番なので入学は無理と判断した為でした。ところが、突然入学許可連絡が来て入学し、何と委員になってしまいました。そのため、当面はシルバー中心になります。

先のことでは、ハイキングや俳句を楽しめたらと思っています。どうか宜しくお願い致します。



杉江 喜代子 (すぎえ きよこ)

32期 文化A

クラブ：社交ダンス 趣味：詩吟・茶道・マージャン・映画鑑賞

「日本文化茶道」

緑福祉茶道に入り10年、奥の深さにびっくり、解らぬ事ばかり。

足利義満に始まり（栄西が中国より）、品格にみちた心の精神革命、自分磨き、京都高台寺太夫道中茶会、楽しかった人生の道。自分に厳しく日々善の輪に入り鯉城卒業して学ぶことばかり、感謝の心で一杯です。皆さまありがとうございます。

鯨城に通った2年間は主人の介護と重なりガンバッタ。主人の三周忌8月に済ませると、10年間の介護生活ハッピーと心豊かに進みたいです。

日々健康に気をつけていきます。感謝の一言。



杉崎 四郎 (すぎさき しろう) 32期 国際B

クラブ：フォークソング 趣味：読書（時代小説）

「緑鯨城会入会に当たって」

4月に緑区鯨城会に入会しました。慌ただしかった鯨城学園のクラス、クラブ活動から卒業して一段落。地区鯨城会の意義ある活動を認識しながらも、なかなか積極的になれずにいました。先輩の勧めもあり、取り敢えずの消極的意志で入会しました。まだ間もないですが、諸先輩の地区活動の熱心さを見るにつけ、少しでもお手伝いが出来ればと考えています。

今後ともご指導、宜しくお願いします。



高田 洋子 (たかだ ようこ) 32期 生活B

クラブ：健康ウォーク 趣味：ウォーキング

「出会いを大切に」

この言葉は鯨城学園に入学して初めてのホームルームで学務主任から言われました。緑鯨城会の懇親会に参加して、またこの言葉を思い出しました。年齢に関係なく、集まれば自然と話ができる。不思議ですね。

入会しましたが、どんな活動が自分に合うのか…わかりませんがよろしくお願いします。クラブは健康ウォークでした。OB会も毎週木曜日にあり、楽しいです。

YMCAの日本語ボランティアチューターを始めました。留学生の日本語での会話のパートナーです。



千島 利秋 (ちしま としあき) (32期 国際A)

クラブ：社会研究

趣味：詩吟・クラシック音楽・旅行・英語全般・温泉・歴史探索

「緑鯨城会への入会に際して」

去る4月13日の、緑鯨城会新入会員説明会に、参加させて頂きました。役員皆様の御熱心な説明、そして緑鯨城会を、健全に維持発展させていきたいという強い意気込みを感じました。私はまだ会社の顧問等をしており、あまり時間はありませんが、時間の許す限り、これまでの会社経験を活かし、英会話同好会を支援させて頂きたいと思っています。

早く皆様と親しくなる事を願っております。宜敷くお願い申し上げます。



坪内 克己 (つぼうち かつみ) 32期 国際B

クラブ：パソコン

趣味：旅行

「緑区に46年間住まいを構えて」

緑区には歴史の要所である、桶狭間合戦の古跡等が身近にありますが、詳しくはよくわかっていけませんので、好きな歴史を学ぶためにも、探究したいと思っておりますので、よろしくお願いします。



中村 洋一 (なかむら よういち) 32期 国際A

クラブ：社会研究

趣味：旅行・鉄道

「第二の青春を生きる」

二年前鯨城学園に入学し、今年の三月に無事卒業した。この二年間でのクラス・クラブでの生活は、今までにない充実したものであった。その大きな要因は、利害関係の無い人間関係を、構築できた事であったと思う。そんな生き生きとした二年間で、掛け替えのない友を数多く作れた事、そしてその友との友情が大きく育まれた事。それこそ正に私の第二の青春のスタートと言ってもいいと思う。

これからも、友と新しいチャレンジに、ときめいて行きたい。



早川 公二 (はやかわ こうじ)

32期 国際A

クラブ：健康ウォーク

趣味：音楽鑑賞

「格好いいカラダになる！！」

平成最後の年、正月より会食の機会が多く、体重が増え、腹周りが太くなり、人から指摘される有様。気候の良い今から、深層筋を鍛え、脂肪が燃焼する体幹トレーニングを始め、腹周りのぜい肉をスッキリさせようと思います。

しなやかで、疲れにくい体を造って、緑鯨城会のボランティア活動で、皆さんとの楽しい時を過ごしたく思います。



古澤 利之 (ふるさわ としゆき)

32期 地域A

クラブ：重要文化財研究 趣味：日本画・工芸品・寺社鑑賞

「緑鯨城会への思いとお願い」

入会に際しての思いは、「時間をどう過ごそうか」と言う利己的な目的で、崇高さは微塵ありません。唯々流れに身を任せれば何かあるのではとの思惑だけです。私はリーダーシップの取れる人間ではありませんので、陰日向なくお手伝いできればよいと思っていますだけです。

私はお酒が好きで、つい深酔いし、失言がままたり注意できれば良いのですが酔っていますので、翌日「ごめんなさい」でご容赦下さい。どうか宜しくお願いします。



吉田 稔 (よしだ みのる)

32期 国際A

クラブ：天文・気象

趣味：旅行・ゴルフ等

「日々いとおしんで」

30数年前、猛烈な疲労から始まった糖尿病。甘い物を敵に回しての生真面目な生活ぶりも年と共に陰りが忍びより、甘い快樂の味を時々嗜み、その報いの奇襲を恐れながら生活しています。

<つづく>

「病は気から」の格言から、インシュリンの注射器を抱えての訪問国70ヶ国を目指しての旅、下手なゴルフ、鯉城の心友達との交流…といった贅沢な時間と心境をじっくり味わって、日々をいとおしんで残余を生きている私です。

鯉城会 32 期生説明会 片平ふれあいセンター



上野 英生 (うへの ひでお)

31 期 文化A

クラブ：天文・気象 趣味：旅行・歩くこと・カラオケ等

コメント

2 年前に入学して様々な人との出会いがあり、楽しんだ学園生活を送ってきました。そして、卒業後もまた多くの人との出会いがあり感激しています。

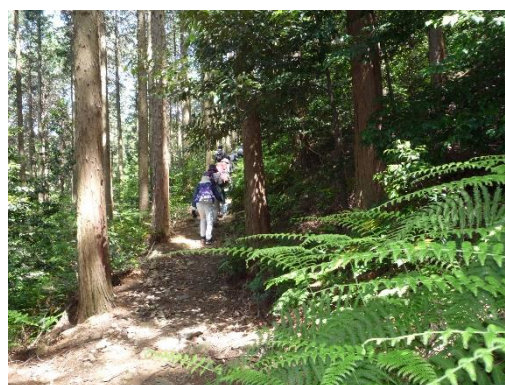
鯉城学園の仕組みの妙に感心しています。今までは地域の方との交流は、ごく限られた町内のみでしたが、区全体に広がることに期待しております。

旅行、ハイキング、街あるきなど、健康維持を兼ねて趣味としておりますので、一緒にできたらと思っています。今後ともよろしくお願いします。

注：「ふれあい 72 号」の新入会員（31 期生）の紹介において、上野様の掲載を忘れるという大変な失敗をしてしまいました。誠に申し訳ありませんでした。謝罪申し上げます。
(広報委員長)

ウォーキング同好会活動報告とこれからの予定

2019 年(令和元年) 5 月 30 日(木) 弥勒山ウォーキング 参加者 22 期～32 期 11 名参加
大曾根からゆとりーとラインを利用し高蔵寺駅で名鉄バスに乗り継ぎ、10:46 都市緑化植物園に到着する。植物園管理事務所で登山コースの情報を聞き、今が見頃のバラ園を通り、登山開始。初めの取っ付きは急登で息が弾むが、緩やかな林道を進み 12:30 弥勒山山頂(437m)に到着。早速、各自弁当を開きコーヒーを楽しむ。下山も快適に進み植物園発 14:56 のバスで帰りました。



—2019 年(令和元年) 秋のウォーキング案内—

新美南吉記念館&彼岸花

難易度1 歩行距離 6 K (弁当持参)

○令和元年 9 月 30 日(月) 9 時 10 分名鉄金山 3・4 番ホーム前から 2 両目付近集合
名鉄金山 9:15 発特急内海行⇒9:37 着(阿久比乗換)9:39 発⇒9:42 着半田口
コース 金山(550 円)⇒半田口～新美南吉記念館～矢勝川沿い彼岸花～岩滑八幡神社
～ 南吉の生家～半田赤レンガ建物～ 住吉町駅⇒(600 円)金山

焼き物のまちと虎渓山永保寺

難易度1 歩行距離 7K (弁当持参)

○令和元年 10 月 30 日(水) 8 時 50 分地下鉄鳴子北ホーム 1 両目付近集合 (500 円×2)
地下鉄鳴子北 8:55 発⇒今池⇒千種乗り換え 9:34 発⇒多治見 9:59 着
コース 多治見駅～たじみ創造館～多治見修道院～虎渓山永保寺～虎渓窯～多治見駅

大池公園～聚楽園大仏ウォーキング&ランチ

難易度1 歩行距離6K

○令和元年 11 月 30 日(土) 9 時 25 分名鉄金山 3.4 番ホーム前から 2 両目付近集合
名鉄金山 9:30 発内海行⇒9:44 太田川着
コース 金山(400 円)⇒太田川駅⇒大池公園(散策)～大窪公園～加家公園～聚楽園公園
(散策)～しあわせ村 じゅらく～聚楽園駅⇒(350 円)金山

毎回の

注意事項

服装・持物 動きやすい服装・帽子・リュック・手袋・飲み物・雨具・ストック・(*弁当)

前日午後 6 時 52 分天気予報で 9 時～15 時まで雨量が 50%以上は中止です!!

連絡先 : 瀧澤克彦 090-9220-6042

家具転倒防止対策

上野 英生（31 期文化A）

皆さんは地震のときに冷蔵庫が動くことをご存知ですか？

今年の 2 月に緑鯉城会主催で開催された、緑区の家具防止対策ボランティアの方々による説明会のひとこまの衝撃的な映像です。

そして様々な家具防止対策の説明をお聞きしてお願いすることにしました。区役所の生活係へ申込用紙に記名捺印の上で申し込みます。しばらくして家具防止対策ボランティアの方より連絡があり下見に我が家までおいでになりました。

家中を案内して必要箇所の説明をしていただきすべてをお願いすることにしました。程なくして 3 名の方々が訪問され対策をしていただきました。肝心の冷蔵庫は上部の棚へ長さが調節可能な突っ張り器具を 2 箇所、そして硬質ポリウレタンを更に 2 箇所はめ込みました。

書架は背面の壁に固定用の木をわたしてその木に L 型金具で固定します。納戸の中の背中合わせの箆笥はお互いの背面を L 型金具で固定して倒れにくくします。

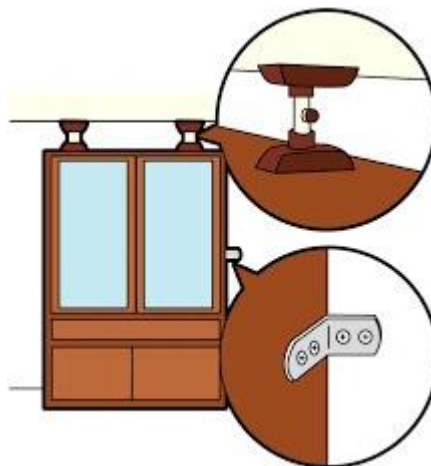
その他低い家具は下部前面にくさび状の樹脂の器具をはめ込みます。神棚、仏壇は底面に 4 箇所滑り防止の柔らかい肉厚の樹脂を配置、仏壇の下の方には下部前部にくさび状の樹脂をはめ込みます。

器具は専門店で購入されるそうで近所のホームセンターではおいていないものが殆どでした。工具セットも大工さん同様の道具を取り揃えていました。

3 名で 3 時間強で器具代込で 1 万円で十分にお釣りが来ました。

阪神大震災から様々な地震を経験の上での手法でしっかりと対策していただきました。

みなさんも是非対策をされることをお勧めします。



俳句・短歌・川柳コーナー

俳句

朝霞鈴鹿の山を包みけり

川沿ひの桜並木に人のなみ

二九期 文化A 熊田 八郎

薔薇園にすれ違うひと楚々として

三〇期 文化A 大矢三智子

をんな坂花の命を語りつつ

静寂を薔薇の深紅の揺れにけり

三〇期 文化A 坂神 誠

春進み布団の枚数悩む夜夜

三一期 文化A 上野 英生

雨あがり白紫陽花の懐かしさ

熊ん蜂藤棚どれも飛んでいる

三十四期 坂本 伸一

短歌

カラオケで昔の歌を熱唱す若き日の夢、
愛、旅想う

桜浮く水辺を数羽鴨が行くさざ波光り
春日穏やか

二九期 文化A 熊田 八郎

カアカアと二十数羽で会話する今日はゴ
ミの日お久しぶりね

三十期 文化A 大矢三智子

その昔ここに団地があったことどうだって
いい記憶だけだと

春の日をキラキラさせて観覧車あのゴン
ドラに置いてきたこと

取り出せば妙に重たきスマホなり思えば
ここに住む人あまた

三十期 文化A 坂神 誠

我が庭に桜の花びら咲き乱る風の気まぐ
れ春を運びぬ

三一期 文化A 上野 英生

青もみじ薄紅色の実を抱いて晩秋を待ち
子孫をのこす

試合中孫の動きに氣をとられ勝ち負けわ
からず娘がわらう

三二期 文化A 廣瀬 義忠



一人各三句・三首まで投稿可ですぞよ

鯉城会ホームページへの投稿・掲載について

ご承知のように今年 4 月より鯉城会、各区鯉城会のホームページが新しくなりました。以前のHPでは掲示板等に自由に書き込み投稿ができましたが、広告宣伝等の外部侵入を防ぐため、やむなく掲示板がなくなりました。

新しいHPでの投稿は、鯉城会HP内の「各区鯉城会から鯉城会全体へのお知らせ」と緑鯉城会HP内の「区鯉城会内のお知らせ」及び「スケジュール」欄です。鯉城会HP「各区鯉城会から鯉城会全体へのお知らせ」欄は、「作品展の開催案内」等、緑鯉城会から各区鯉城会全体にお知らせしたい場合に掲載します。また緑鯉城会HP「区鯉城会内のお知らせ」欄は、行事・旅行、同好会等の案内・活動報告等、最も多く掲載します。同緑鯉城会HP内にある「スケジュール」欄は、緑鯉城会の月間活動予定表を主に掲載します。

掲載までの流れは以下のとおりです。

- ① ワード、エクセル（A4 で 1 枚以内程度が理想）等で作成する
（PDF に変換していただくとありがたいのですが、ワード・エクセル原稿のままでも構いません）



- ② 緑鯉城会 HP 担当者に添付・メールで送信する
 - ・「お知らせ」欄か「スケジュール」欄への掲載を明記
 - ・件名（タイトル）を 1～2 行で明記
 - ・掲載日は毎月 2 回（第 1・3 月曜日）となり原稿締め切りは、その前週木曜日です
 - ・送信先：tk9638@xj.commuja.jp （緑鯉城会 30 期 HP 担当 河内）



- ③ 緑鯉城会 HP 担当者より鯉城会 HP 担当者へ原稿を送信し掲載を依頼する



- ④ 鯉城会担当者が業者に掲載依頼する



- ⑤ 基本は毎月第 1・3 月曜日（前週の木曜日までに届いた原稿）にHPへ掲載

以上の流れで掲載されますが、途中でのチェックはほとんどされません。文章・写真・数字等、十分注意して責任を持って作成をお願いします。

（広報委員HP担当 河内 猛男）

会員の声の広場

<質問>

区の鯉城会により会費が違うのはなぜですか？

(31 期生)

<回答>

各区鯉城会では、会員登録時の入会金と会員の活動の維持のために年会費を納めることを会則で定めています。

入会費については、ほとんどの区会が、入会登録時に 2000 円を納めます。殆どと言いましたのは、入会費は無しが 1 区、1500 円の区が 1 区です。年会費は、2000 円から 1500 円とばらつきがあります。緑鯉城会は 1700 円でちょうど中間といったところです。入会費も年会費も、各区会の総会で承認されることで決められますが、各区の活動と人数によって、現在のばらつきが出てきたのです。

ここ 2, 3 年前から、新規入会者の減少によって、費用面からも従来の活動形態の維持が難しくなっている区会も出始めてます。

(副会長 平田)

「自由投稿」や「皆さんの声」をお待ちしております

「ふれあい 76 号」の原稿募集

12 月発行予定の「ふれあい 76 号」の原稿を募集します。

- ・作品展に出品して、又は作品展に関しての思い
- ・各行事、ボランティアなどに参加して
- ・俳句、短歌、川柳（一人三句又は三首まで）
- ・その他、趣味や人生についてなどの自由投稿
- ・緑鯉城会への意見、質問など

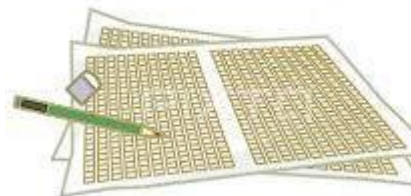
〈締切り〉10 月 31 日（木）

なお、作品展に関するものについては 11 月 5 日（火）

〈原稿提出先〉次ページ編集後記欄の広報委員へ

※投稿はメール、郵便などどちらでも結構です。

詳しくは広報委員へ



表紙写真・緑区扇川の桜

緑区には桜の名所がたくさんあります。

規模的には大高緑地公園、歴史的には神の倉学区・熊の社、その他戸笠公園など多数あります。その中でも緑区を横断する扇川沿いに咲く桜は見事です。歴史が浅く山崎川には及びませんが散歩がてらに見るには絶好です。

「ふれあい」がお手元に届く時は葉桜になっておりますが、新しいスタートに際し桜の写真を選びました。

来年の春には桜見にぜひお出かけください。

(広報委員 坂神)



編集後記

(撮影者 30期地域B 渋谷 稔)

新たに「令和」となり、30、31期生で初めて作成した「ふれあい75号」はいかがでしたでしょうか？

広報委員で何度も話し合い、会員皆様の情報交換の場として、読みやすい紙面作りに努めましたがその難しさを実感いたしました。

やはり広報誌は、会員の皆さんの投稿があってこそそのものです。積極的な投稿をお願い申し上げます。

今号では新旧役員のご挨拶のなかで会員減少について問題意識を持たれている方が何人もお見えでしたが、広報委員会でも独自の考えを記事にして掲載するつもりでした。

しかし、緑鯉城会で「魅力づくり委員会」を発足させ会員減少対策を含め、今後の緑鯉城会のあり方を検討することになりました。いずれその結果が発表されるでしょうから今回は掲載を取りやめさせていただきました。

この件についてご意見をいただいた皆さんには誠に申しわけございません。

今後も会員のための広報誌であることを忘れず、広報委員一同頑張ってまいります。

広報委員

坂神 誠 (30期)	msms1221@yahoo.co.jp	TEL 090-6082-5401
河内猛男 (30期)	tk9638@xj.commufo.jp	TEL 090-2182-0005
奥野幸泰 (31期)	yukiAR1105@outlook.jp	TEL 090-6093-0183
河村興彌 (31期)	k82c4@yahoo.co.jp	TEL 090-2267-4141

※「ふれあい」のカラー版を緑区版ホームページでご覧いただけます。
ご利用ください。